

2024（令和6）年度 豊橋創造大学短期大学部 有識者による外部評価とそれに対する所見・対応等について

■幼児教育・保育科

外部評価者：社会福祉法人 幼保連携型認定こども園 明照保育園 理事長／園長

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科（科）の所見及び対応等
(1)入学者の受け入れについて：適切である 大学の方針に基づき適切に実施されている。少子化かつ多様な学生の質の現状に対処すべく、地域の高等学校での模擬授業等により、本学での学びに対するイメージが高まっていると思われる。	少子化、保育士志望者の減少傾向を勘案しての「適切」との判断だったと考える。科としては、豊橋市、新城市との連携事業、イオンモール豊川との連携を行っており、近隣での保育者養成校の存在感を出して行くこと、また併せて、地域の保育マーケットの醸成に努めている。 オープンキャンパスでは、全教員参加2年目を迎え、多様化する学生に全教員で対応するように努め、定員充足に向けた活動を行っている。また、次年度からは長期履修制度を盛り込み、一層定員確保に取り組んで行く。
(2)カリキュラムの内容・学修方法・学修支援・学修成果について：適切である 2年間という短期間で自分の将来の目標を具体的により明確化し、主体的に勉学に向き合うために、授業やゼミ等で保育現場に出かけ、子どもと直接関わる経験があると良いのではないかと思う。	本学には附属幼稚園を持たないが、一昨年からは火曜日から木曜日の午前10時から午後3時まで「つどいの広場」が開設されている。教員のミニ講座や、セミナー活動として手遊び等を披露する機会を得ている。 また授業の中で、市内の園の協力を受け、園児が大学構内に来て、学生と子どもが触れ合う機会を持つようにしている。今後も在学時代にたくさん「子どもと触れ合う機会」を作ることを検討したい。
(3) 本学の教育活動全般について：適切である 実習懇談会を通して、保育現場のニーズと大学のカリキュラムの現状等の共有が図られたことで、本学が地域の幼児教育、保育の質の向上の一端を担う存在であることが実証された。今後も会の継続を期待する。	実習懇談会は、ステークホルダーと情報共有を図る大切な機会である。就職面でもキャリアセンターが中心に「保育のお仕事フェア」を市内の幼稚園・保育所・こども園と園種の枠を超え、開催している。地域の園と今まで以上に協力（協働）し、東三河の保育の質の向上、保育者の養成、保育志望者の増加に貢献して行くよう努めたい。

■キャリアプランニング科

外部評価者：豊橋商工会議所 ビジネスサポートセンター長

外部評価における意見・提言等	外部評価を受けての学科（科）の所見及び対応等
(1)入学者の受け入れについて 評価：適切である 地元企業との密着型・実践的な活動により、8 割の学生が東三河 5 市での出身者である。今後も、さらに卒業生の活躍実績（特に地元企業との密着性など）を露出させる、また実践的なプログラム（例；食育、医療事務体験など）を開催し、地域一体となった入学 者へのアプローチができるとよい。	豊橋商工会議所とは、職業教育や求人情報などについて定期的に意見交換を行っており、本科教育とその成果（就職実績等）についても、深くご理解を頂いている。入学者を増やすことが依然として本科の最重要テーマである。地域性を活かした教育及び成果の PR は差別化要因の一部と捉えている。近年の公務員や医療事務職における就職実績は、本科の強みでもあり、これらを募集広報活動に活かすことを未だ模索している状態である。双方にとって、地域産業の発展や人材育成に貢献することを共通の課題としており、今後も様々な取り組みにおいて連携し、情報発信していくことを検討する。
(2)カリキュラムの内容・学修方法・学修支援・学修成果について 評価：適切である ポリシーにあるとおり、社会人基礎力や勤労観などに重きをおき、実務能力の習得や地元企業とのインターンシップによる連携強化を図っている。また食育や SDGs をテーマに地域密着型のゼミや豊川市民病院との連携事業などにも取り組まれており、今後、さらに地元企業との連携や地域プロジェクトへの参画に期待したい。	カリキュラムについては、一定の評価をいただいている。地元企業との連携や地域プロジェクトへの参画を期待されているという助言を頂き、現路線の正しさを確認できた。最近の話し合いの中では、教育的観点からのみならず、地域貢献や募集広報的観点でイベントや地域活動への依頼を頂いている。地域密着型の教育を実践する上でも、このような期待に応え、地元企業との連携に向けた取り組み強化していきたい。
(3)本学の教育活動全般について 評価：適切である 少子化の中で、短期大学の差別化が難しい中、勤労観、就業を意識し、地元企業や地域社会に役立つ実践的な教育をポリシーに掲げながら活動を行っている。今後も、さらに地元企業と地域産業の発展・振興につながる地元密着型の大学としての活動に期待したい。	地元密着型の短期大学部として評価を頂けている点は、地域総合学科としての本科教育活動が、地域の多様なニーズに応えられているものと判断する。引き続き、地元企業と地域産業の発展・振興に貢献できるように、情報集活動なども密に行いながら、教育活動を行っていく。その上で、多様化する学生ニーズに応えながら、カリキュラム、履修形態など、満足度を高められるよう、更なる改善に努めていく。